

新年ごあいさつ

皆さま、明けましておめでとうございます。
人形峠環境技術センター所長の木原でございます。

平素より当センターの業務につきまして、町民の皆さまには多大なご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により何かと我慢を強いられる年となりました。皆さまにおかれても多くのご苦勞があったと推察いたします。当センターにおきましても従業員の感染を防ぐべく最善の努力を行っております。

下記のとおり、昨年11月に総合管理棟で建物ぼや火災が発生し、皆さまにはご心配をお掛けいたしました。再発防止に努めるとともに、あらためて基本動作の徹底、安全最優先で業務に取り組む所存です。本年もよろしく願いいたします。



人形峠環境技術センターからの お知らせ (vol.9) 【鉱山施設のこれまでと現況編】

総合管理棟 操作室における建物ぼや火災の発生について

昨年11月9日、事務や安全管理に携わる従業員の居室となる総合管理棟の放射線施設操作室（放射性物質は扱っていないエリア）において、エアコン設置工事にかかる分電盤内の検電作業中に短絡を生じさせる建物ぼや火災が発生しました（昨年、新聞で報道されたものです）。

短絡により設備（ブレーカー）の一部が溶融して発煙を生じたものですが、作業員の怪我や環境への影響はありませんでした。皆さまには大変ご心配をお掛けしました。今後は再発防止とともに安全最優先で業務に取り組めます。



赤丸の部分が短絡箇所
赤□で囲った部分が溶融、発煙したブレーカー部分

鏡野町ペスタロッツ館2階「人形峠サテライトオフィスふらっと」 にお越しく下さい



人形峠センターの仕事や今後の計画について皆さまと対話したり、子供さんに理科を楽しんで欲しい、気軽に来てほしいとの思いから「人形峠サテライトオフィスふらっと」を設置しています。ぜひお越しく下さい。

お問い合わせ先：「人形峠サテライトオフィスふらっと」
TEL：070-1410-7804
もしくは総務課TEL：0868-44-2211(代)まで。

※開館日はペスタロッツ館と同じです。

いま、人形峠環境技術センターでどのような業務を行っているのか、よく分からないという声を聞きます。このため鏡野町さんのご協力をいただき、不定期ではありますが、「お知らせ」として事業所の状況をお伝えさせていただきます。

今回は、人形峠環境技術センターの「鉱山施設のこれまでと現況編」をお届けいたします。

人形峠とウラン、鉱山活動のこれまで

我が国の原子力開発の原点とされるのが人形峠です。1953年に国連総会で米国のアイゼンハワー大統領が『Atoms for Peace』と呼ばれる歴史的演説を行って以来、世界各国でエネルギー源としての原子力利用の機運が高まりました。我が国でも原子力発電時代の到来を見通し、自主的にウラン資源を確保することが急務とされた背景のもと、1955年に我が国で初めてウラン鉱脈が人形峠で発見されました。

以降、人形峠地域では地質構造の調査やボーリング調査、ウラン鉱石の産状を直接把握するための坑道探鉱等を行うとともに、ウラン鉱床に適した探鉱技術を確立しました。ここで得られた探鉱技術は、国内の他地域や海外での探鉱活動に用いられました。

また、ウラン鉱石からウランを抽出する技術、不純物を取り除く技術の開発も進めました。



ウラン鉱床調査の様子



ウラン鉱石の搬出の様子



雪に覆われた人形峠出張所（当時）の全景（1960年頃）



鉱山関連施設の状況（1987年頃）

現在の状況（維持管理と災害対策）

約30年間にわたる技術開発を終了した鉱山施設は、危害や鉱害を発生させないため、鉱山保安法に基づき、施設の点検や必要に応じて行う補修作業、そして環境放射線の測定監視を行うほか、地震や大雨の後の速やかな巡視点検を行うなど日常的に安全確保のための取り組みを行っています。

そして、将来にわたって安全を確保していくため、自然災害の被災防止に向けた取り組み、施設を土で覆うなどの閉山措置などについて、長期的な安全性に関する評価を行いながら技術開発を進めています。これらの対策は、地元自治体や地域の方々へご説明、ご理解をいただいたうえで実施する考えです。



露天採掘場跡地の状況（監視測定を行っています）



鉱さいたい積場下部（監視測定を行っています）



鉱さいたい積場上部（安定化措置後の健全性・有効性を確認中です）



巡視点検の状況です

自然災害対策

人形峠センターでは、大規模な地震や豪雨などの自然災害に備える対策を最優先で進めています。地震や大雨、土砂崩れ等が施設に影響を与えるのか調査研究を行い、影響を受ける可能性がある施設については対策を講じています。建物の耐震補強や、地滑り対策として新たな堰堤（えんてい）を設置（2018年）するなど対策を進めています。

2018年に設置した堰堤



岡山、鳥取両県の鉱山施設



約30年間にわたる技術開発を終了した鉱山施設は人形峠センター内の施設に加えて、鏡野町、三朝町及び湯梨浜町内にウラン鉱床までの坑道掘削で発生した捨石（ズリ）のたい積場があります。

捨石たい積場は、鉱山保安法に基づき定期的に巡回して異常の有無を確認したり、放射線の測定監視をするなどの管理を行っているとともに、大雨や地震発生後の点検を行うなど安全管理に努めています。